

事務事業名	現年単独農業用施設災害復旧事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<<産業>>	所属G	農林道G	課長名	渡部克彦
	施策名	(36)農業の振興	担当者名	小田川博志	電話番号	0854-40-1053
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。	(内線)	3711
	基本事業名	(108)農業基盤の保全	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 5 5 0 1 項 目 中事業 中事業名 0 5 1 5 0 3	農業用施設災害復旧事業 現年単独農業用施設災害復旧事業	
目的:対象	担い手農家・担い手以外農家	意図	農業の生産性を維持・向上できるようにする。			

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (24年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	豪雨災害により、土砂崩壊、路肩決壊、水路の破損などの被災を受けた農業用施設(農道・水路など)を原形復旧する事業である。災害として認められる基本事項として、時間雨量20mm以上、連続雨量80mm以上のどちらかをクリアすること、また災害規模としては、被害額が13万円以上40万円未満であることが必要となる。 起債充当率:80%(小債)

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	26年度実績(26年度に行った主な活動) 現場確認 復旧工事(現場管理)	27年度計画(27年度に計画する主な活動) 災害が発生したら取り組む。			
	② 活動指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
	ア 復旧事業費(現年)委託料	千円	7,665	1,092	1,642	0
	イ 復旧事業費(現年)工事費	千円	0	0	0	0
	ウ 復旧事業費(繰越)工事費	千円	7,485	27,023	4,312	5,500
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	被災箇所	③ 対象指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 申請箇所数	箇所	119	110	15	19
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	被災箇所の復旧を図る。	④ 成果指標	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
			ア 復旧事業費(現年)委託料	箇所	95	15	19	0
			イ 復旧事業費(現年)工事費	箇所	0	0	0	0
			ウ 復旧事業費(繰越)工事費	箇所	24	95	15	19

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳(26年度決算)	② コストの推移	単位	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(計画)
【現年(26年災)】19箇所 委託料:1,642千円 【繰越(25年災)】15箇所 工事費:4,312千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円	9,700	18,300	3,200	4,400
	地方債	千円	145	499	106	107
	その他	千円	5,305	9,316	2,648	993
	一般財源	千円	15,150	28,115	5,954	5,500
	事業費計(A)	千円				
	正規職員従事人数	人	6	3	3	
	延べ業務時間	時間	2,500	1,100	1,100	
	人件費計(B)	千円	9,795	4,282	4,277	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	24,945	32,397	10,231	

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
単年の災害発生件数により事務量が大幅に変化するが、他の類似事業(土木災害)に比べ事務量が多く、近年より詳しい資料の準備を要求されてきている。	特記事項なし	住民より農作業に支障があり、早期復旧の要望あり。

事務事業名	現年単独農業用施設災害復旧事業	所属部	産業振興部	所属課	農林土木課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	原形復旧を原則としており向上余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	農地の荒廃につながる。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		災害復旧事業の要綱に基づき実施。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		工法検討により、経済的なものを選択している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		最低限の人数で対応している。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		復旧には平等の費用負担もされている。事業費×2%分
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
農林水産事業施設災害復旧事業根拠法令に基づき事業を実施していることから、今後においても急激な変化はないものと考えられる。これまで同様の業務を行う。			来年度以降も従来どおりで改善は必要なし。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>農林水産事業施設災害復旧事業根拠法令に基づき事業を実施していることから、今後においても急激な変化はないものと考えられる。これまで同様の業務を行う。</p>																								
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								